

○目 次

★ 調査の概要

1. “とちぎ”の現状評価（どのように感じているか）
2. 将来居留意向（将来も“とちぎ”に住みたいか）
3. “とちぎ”の特色（他県に誇れるもの、魅力あるもの、自慢したいもの）
4. これからの望ましい「“とちぎ”の姿」
5. よりよい“とちぎ”づくりに向けた参加意向

★ 調査の概要

（1）調査の目的

この調査は、「新しい総合計画」策定にあたり、その参考とするため、県内の高校生の意向を調査したものである。

（2）調査項目

- 問1 “とちぎ”の現状評価（どのように感じているか）
- 問2 将来居留意向（将来も“とちぎ”に住みたいか）
- 問3 “とちぎ”の特色（他県に誇れるもの、魅力あるもの、自慢したいもの）
- 問4 これからの望ましい「“とちぎ”の姿」
- 問5 よりよい“とちぎ”づくりに向けた参加意向

なお、問4と問5は、本年2月に実施した県民意向調査（5,000人対象）と同じ項目である。

（3）調査の実施方法

対象者は、県内の高校（県立・私立を含む。）に在籍する2年生とし、学科や地域に配慮して26校（クラス単位で概ね1,000名を目標）を抽出し、各学校の協力を得て、平成16年7月に実施した。26校からの回収数は1,051票であった。

回 答 者 内 訳		〔男女別構成〕	
（総回答数）	1,051 人	男 性	484 人 （46.0%）
		女 性	561 人 （53.4%）
		無 回 答	6 人 （0.6%）

実施時期：平成16年7月